

(様式2)新規評価シート

建設部 道路建設課

事業名		道路改築事業		路河川名等	(主)川上佐久線				
事業毎の通番		18	市町村名	佐久穂町	箇所名(ふりがな)	海瀬～羽黒山(かいぜ～はぐろやま)			
事業概要	事業目的	(主)川上佐久線は、川上村大深山を起点とし、佐久市中込へ至る補助幹線道路であり、国道141号を補完する路線として位置付けが期待されている。 また、現道幅員は人家が連担している集落内では幅員が5.5m以下の部分が多く、大型車の通行が困難な区間があり、また歩道が整備されていないため歩行者の通行も危険な状態である。 このため、当該区間のバイパス化とともに歩道設置を行い、交通環境の改善、安全な歩行者空間の確保を行うものである。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり (暮らしを支える道路網の整備)		事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	広域道路網マスタープラン							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	計画交通量：4,000台/日							
	着手年度	平成27年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	1.4		国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	道路改築工 L=1,500m W=6.0(10.75)m			1,500,000	900,000		540,000	60,000	
年度事業内容(主な工種)									
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	走行時間、経費等の減少 14億円							
	間接的効果(定量的・定性的)	大型自動車事故防止、地域間交流の促進							
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 代替道路の有無：なし 交通結節点アクセス：八千穂IC(仮)への1次アクセス 観光地アクセス：竜岡城・五稜郭に通じる道路 地域の活性化：佐久市～南佐久地域の地域連携に資する道路、バイパスの未整備区間解消 						評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> 関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プランの調査箇所、佐久穂町総合計画 緊急輸送道路の路線指定：佐久穂中学校、生涯学習館(指定広域避難場所)への避難経路 地域指定：積雪地域 						評価	B
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> 費用対効果(B/C)：1.4 事業期間：6年 工法等の比較検討：ルート比較の中でコスト比較検討実施 他事業との連携：なし 						評価	B
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> 近年の交通事故件数：H20～H21 2件 危険箇所対策：朝夕の児童の安全確保 歩道整備：通学路対策 道路構造：現況幅員 5.0m 						評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> 事業情報の共有：なし 地域の取り組み：毎年、佐久穂町から要望がある 地域の合意形成：合意形成は図られていない 住民との協働：住民関与は低い 						評価	C
	部意見	事業の必要性、緊急性が高いが、地域の合意形成など計画熟度が低いため、事業化を見送りたい。	行政改革課意見	必要性が認められる。				評価結果	総合評価

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

概要図

【整備の必要性がわかる状況写真等】

標準横断面図

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	(主)川上佐久線は、川上村大深山を起点とし、佐久市中込へ至る補助幹線道路であり、国道141号を補完する路線として位置付けが期待されている。 また、現道幅員は人家が連担している集落内では幅員が5.5m以下の部分が多く、大型車の通行が困難な区間があり、また歩道が整備されていないため歩行者の通行も危険な状態である。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は沿線に人家が密集しており、幅員が狭小である。また、付近に小・中学校があることから、歩行者の保護が求められている。このため、地元からの要望も強く、佐久穂町から毎年道路改良の要望があげられている。
③事業説明等の経緯	現在実施中の当該工区起点側1,400mのバイパス事業は、H27完了予定であり、佐久穂町からは早期の事業化を求められている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	しあわせ信州創造プランの調査箇所に位置付けられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	当該地区沿線は農業地域であり、周辺環境に配慮した計画を検討する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により交通の円滑化と歩行者の保護が図られ、地域間交流ネットワークにも寄与するものと期待される。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 08' 59" 東経:E 138° 29' 45"

事業周辺環境